

# サンプルプレート送付についてのガイドライン

サンプルをプレートにご調製いただいた後、送付するまでの手順、注意事項についてご案内いたします。

一般的なラウンドウェルV底「96Wellプレート」ならびに「アルミシール」を用いた手順になりますがサンプルが輸送中に漏れる、蒸発するなどのトラブルの対処にあたり、ご参考いただけるかと存じますのでご一読くださいませ。

## 1. サンプル調製後の液量確認

サンプルご調製後、液量が等量入っているかもう一度ご確認ください。

Fig.1,2は14ul入れた状態の写真になります。

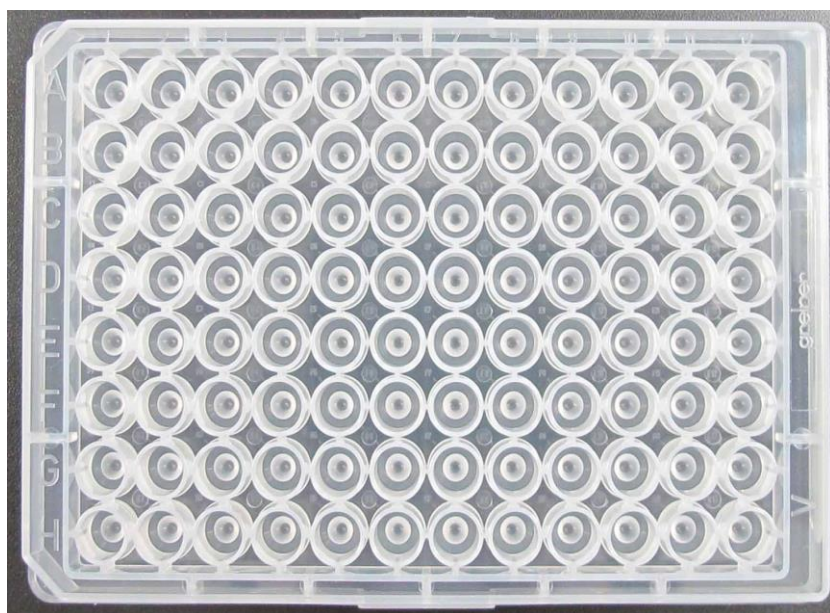


Fig.1 プレート上から確認



Fig.2 プレート下から確認

## 2. シールを貼る

アルミシールサイドの点線部分を切り、シールをはがします。

『しわ』にならないように  
ゆっくり端から接着してください。



Fig.3 端からシールを接着

## 3. シールの圧着

ただ貼っただけでは、シールの粘着性が十分に生かされません。まずは内側から伸ばすように指の腹を使いシールを圧着していきます。

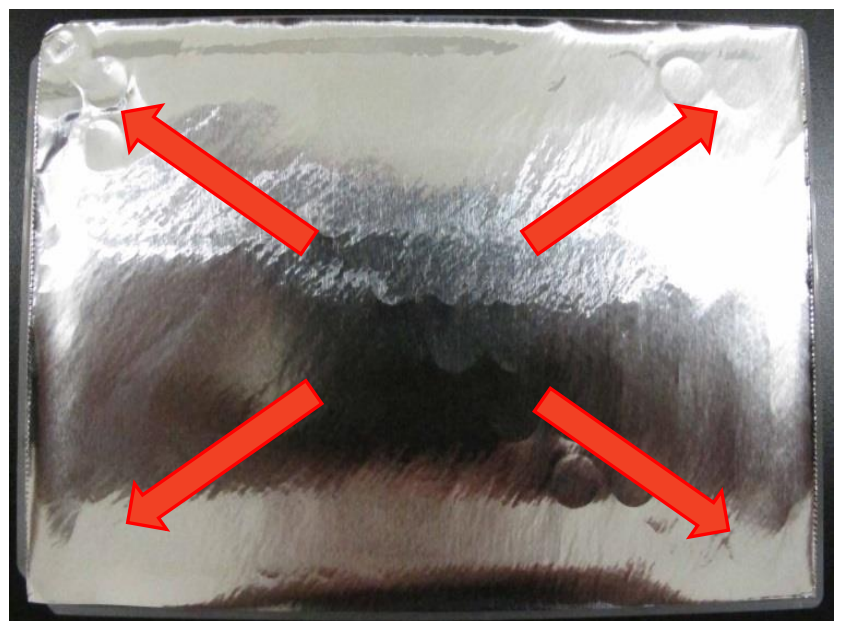


Fig.4 内側から伸ばすように圧着

さらにWellの縁が一つ一つ見えるようになるまで指などで擦るように圧着します。



Fig.5 Wellの縁が確認できるまで圧着



Wellや刻印が確認できればちゃんと圧着できている状態です。



Fig.6 アルミシールが圧着された状態のプレート



Fig.7 アルミシールが圧着された刻印の状態

### 3.梱包

弊社からお送りしている組み立てボックスを組み立て、逆さまにならないよう底面やプレートを挟む形で緩衝材を敷き詰めます。

プレートが多い場合などダンボールを使用する際は、サイズ60以下のものをお使いください。



Fig.8 緩衝材が敷き詰められ、ボックスへセットされた状態のプレート

### 【参考】

PCRプレートをご利用の場合、スカートがありませんので、チューブ部分については何らかの保護を行っていただくことをお勧めいたします。  
96単位のチップ空きラックなどの利用など、ご検討ください。

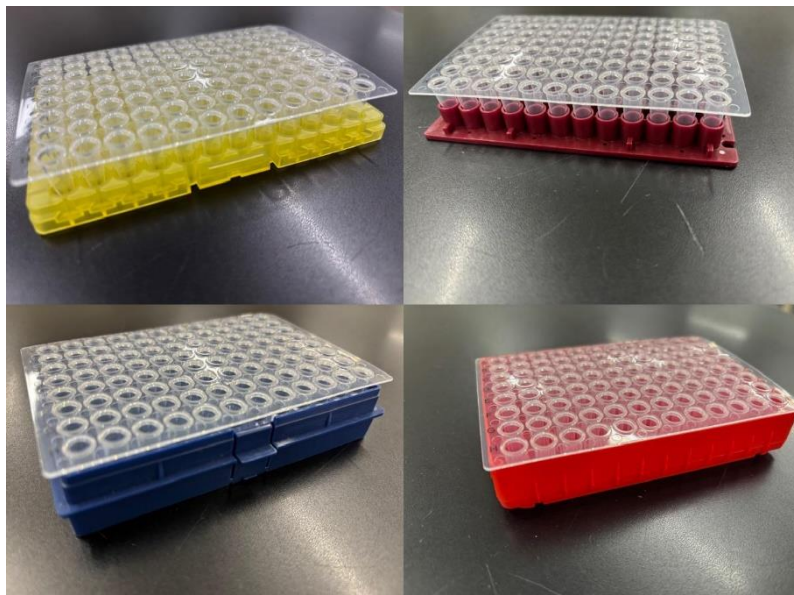


Fig.9 空きラックでのプレート保護例

以上まで行っていただき、伝票ならびに天地無用のシールを貼り付け、常温便でお送りください。もしコンタミや液漏れの不安がある場合には予冷のうえ、冷凍便にてお送りください。

注意いただく点をまとめますと、以下の3点が重要となります。

- ・シールをしわの無いように貼り、さらに強く圧着させる。
- ・梱包容器の中でプレートが動かないように緩衝材などで固定する。
- ・天地無用で運送業者に渡す。

こちらはお客様自身でご用意いただいたプレートやシールを用いてお送りいただく場合でもご参考いただけるかと存じます。

サンプル送付についてご不明な点等ございましたらお気軽にお問い合わせください。

株式会社ファスマック  
バイオ研究支援事業部  
DNAシーケンスサービス  
Tel: 046-281-9902  
Mail: seqsupport@fasmac.co.jp